

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成25年2月28日 (2013.2.28)

【公開番号】特開2011-78055(P2011-78055A)

【公開日】平成23年4月14日 (2011.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2011-015

【出願番号】特願2009-230302(P2009-230302)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/91 J

H 0 4 N 5/93 Z

G 0 3 B 17/18 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月9日 (2013.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の画素が行列状に配置された、被写体の像を撮像して画像信号を出力する撮像素子と、

前記画像信号を入力して、記録媒体への記録を伴わない画像を表示する表示手段と、

前記表示手段により前記画像が表示されているときに、前記画像上における任意の一部領域を第 1 領域として設定する操作を受け付ける受付手段と、

前記受付手段により受け付けられた前記第 1 領域に対応する位置に配置された前記画素から前記記録媒体へ記録するための前記画像信号を読み出す読出手段とを備え、

前記受付手段はタッチパネルにより構成されることを特徴とする電子カメラ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の電子カメラにおいて、

前記表示手段は、前記画像上において前記第 1 領域とは異なる第 2 領域に、前記画像とは異なる態様の表示をすることを特徴とする電子カメラ。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の電子カメラにおいて、

前記表示手段は、撮影に関する情報を表示するための第 3 領域を前記第 2 領域に重畳して表示することを特徴とする電子カメラ。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の電子カメラにおいて、

前記撮像素子は、ローリングシャッタ方式により行単位で前記画像信号を出力し、

前記ローリングシャッタ方式に起因して、前記画像上の前記被写体に発生する歪みの有無を判定する判定手段をさらに備え、

前記表示手段は、前記判定手段による判定の結果を前記第 3 領域に表示することを特徴とする電子カメラ。

【請求項 5】

請求項 2 乃至 4 の何れか一項に記載の電子カメラにおいて、

前記表示手段は、前記第 2 領域を所定色表示することを特徴とする電子カメラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

請求項 1 に記載の発明による電子カメラは、複数の画素が行列状に配置された、被写体の像を撮像して画像信号を出力する撮像素子と、画像信号を入力して、記録媒体への記録を伴わない画像を表示する表示手段と、表示手段により画像が表示されているときに、画像上における任意の一部領域を第 1 領域として設定する操作を受け付ける受付手段と、受付手段により受け付けられた第 1 領域に対応する位置に配置された画素から記録媒体へ記録するための画像信号を読み出す読出手段とを備え、受付手段はタッチパネルにより構成されることを特徴とする。